「ジェネリック医薬品希望カード」とは

後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用を希望する旨が記載されており、医師や薬剤師に提示するためのカードのことです。

※ここに示しているのはあくまでも【ジェネリック医薬品希望カードの一例】です。詳細につきましては、健康保険組合などにお問い合わせください。

【例】

【おもて】　【うら】

2．貴施設における院外処方せん発行状況（平成 21 年 7 月 1 か月間）についてお伺いします。

①院外処方せんを発行している診療科 ※あてはまる番号すべてに○	1. 内科　2. 外科　3. 整形外科 4. 形成外科　5. 小児科　6. 産婦人科 7. 呼吸器科　8. 消化器科　9. 循環器科 10. 精神科　11. 眼科　12. 耳鼻咽喉科 13. 泌尿器科　14. 皮膚科　15. 放射線科 16. その他（具体的に　　）
②外来における院外処方せん発行枚数	（　　）枚　※平成 21 年 7 月 1 か月間
③上記②のうち、後発医薬品を銘柄指定した処方せん又は「後発医薬品への変更不可」欄に署名等をしなかった処方せんの割合 ※あてはまる番号に 1 つだけ○	1. 10%未満　2. 10%以上 ～ 30%未満 3. 30%以上 ～ 50%未満　4. 50%以上 ～ 70%未満 5. 70%以上 ～ 90%未満　6. 90%以上

3．入院患者に対する後発医薬品の使用状況等（平成 21 年 7 月末現在または平成 21 年 7 月 1 か月間の状況）についてお伺いします。ここでは、造影剤などの検査に用いる医薬品を含め、内服薬、注射薬及び外用薬の全てを対象とします。

①平均在院患者数　※小数点以下第 1 位まで	（　　．　）人　※平成 21 年 7 月 1 か月間
②入院患者に対する後発医薬品の使用状況は、いかがでしょうか。 ※最も近い番号に 1 つだけ○をつけてください。	1. 後発医薬品があるものは積極的に使用 2. 後発医薬品のあるものの一部を使用 3. 後発医薬品をほとんど使用していない 4. その他（具体的に　　） ②-1 上記の理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。 1. 処方銘柄について患者からの強い要望 2. 処方銘柄に対応する後発医薬品の副作用が心配 3. 処方銘柄に対応する後発医薬品の効能に疑問 4. 後発医薬品の供給体制に不安 5. 処方銘柄の作用が強く治療域がせまい 6. 患者に適した剤形が他にない 7. 処方銘柄を長く使用し信頼 8. 病院として使用する医薬品の銘柄を指定している 9. 後発医薬品の使用による薬剤料減への不安 10. その他（具体的に　　）